

【記録】令和5年度第2回徳島県立池田支援学校学校運営協議会

1 日 時

令和5年9月14日（木）13：20～16：00

2 場 所

徳島県立池田支援学校

3 日 程

13：00～13：20	受付
13：20～14：00	授業参観
14：15～16：00	学校運営協議会

4 会次第

- (1) 授業参観
- (2) 開会（会長挨拶）
- (3) 協議
 - ① 校則の見直しについて
 - ・本校より説明
 - ・分校より説明
 - ・各委員からの御意見
 - ② 授業参観についての御意見・御感想
 - ③ 地域と学校の連携について
- (4) 事務連絡
- (5) 閉会（会長挨拶）

5 協議における委員からの御意見・御感想

(1) 校則の見直しについて

<箸蔵とことん店長>

- ・本校は、表中の内容は変わっていないが柔軟に対応されるということですね。希望があれば、協議を行い対応をするということは、例えば、ズボンを選択したい場合は協議をして対応を考えるということですが、柔軟なわりには協議が必要というところが気になります。
- ・靴下については、校内に掲示のあった「靴下の調査」などの取組も非常に良いと思いました。
- ・靴下に関しては、式典以外は自由でも良いということで、自由度が増すということですね。
- ・掲示の中にあった「みんな違ってみんないい」の言葉がいいなと思いました。

<鳴門教育大学教職大学院准教授>

- ・子ども基本法にも、子どもの意見を尊重する内容のことが記載されていることもあり、児童生徒の主体性を考慮した取り組みは、特別支援学校にとっても同じく必要なことだと考えます。
- ・見直し案は、拝見したところ賛成です。セクシャルマイノリティーの方は社会の中に約10%おいでるということからも、全ての生徒が選択できるようにすることは、望ましいと思います。
- ・靴下については、式典の時以外では自由にすることは、生徒にとってすごく良いと思われます。頭髪についても自由に選択できるのは良いと思います。

<学校運営協議会会長>

- ・社会はどんどん自由になってきている印象です。しかし、学校は決まりが多いように思います。保護者と先生の気持ちにずれがあるかもしれません。地域の感覚はどうでしょう。

<箸蔵婦人会会長>

- ・性の多様性もあり、スカートとパンツは、はじめから選べる方がいいと思います。ファッション雑誌にしてもパンツスタイルの女性はたくさん載っていますし、自分も社会の中でパンツを選ぶことが多くなってきていると思います。
- ・頭髪についても、今年の甲子園にしても自由な髪型で参加されているチームも話題になっていました。案の文言どおりでいいと思います。
- ・制服は、喉元が窮屈な詰め襟よりも、この頃のブレザーのようなカジュアルな方が体も動かしやすくていいのではないかと思います。

<ケアプラザ美馬施設長>

- ・中学校の出前授業に招かれることがあります。女子もズボンをはいている方が結構多くなってきています。また、先生からは、よく「くん」や「さん」のような男女を区別するような呼び方ではなく、全て「さん」に統一してくださいとの要望があります。
- ・頭髪は、色々な色の方が会社にもいます。利用者の方から意見があれば伝えることはできますが、そうでなければ、会社としては何も言えません。頭髪が茶髪であったとしても、しっかりと挨拶もできていますので。
- ・ルールは大切だと思いますが、靴下や髪型など見た目についてのルールは、そこまできつくしなくてもいいのかなと思います。

<本校PTA会長>

- ・学校が自由すぎてしまうと、社会が窮屈に思えてしまって適応できなくなるのではないかと、個人的に思うところがあります。
- ・社会にはある程度規則があって、その小さな社会といわれる学校の中でしっかりと学び、身につけて、抵抗がないような形になるのではないかと考えています。
- ・学校と社会との厳しさのギャップに対応できるように、学校にいる間に規律やルールを守って生活や活動するということを期待していますし、いろいろな職場に適応するためには、ある程度のルールは必要なのではないかと考えています。

<学校運営協議会会長>

- ・私は学校が一番ルールが厳しいと思っていたが、それがあからこそ、社会でもルールを守っていけると思う。

<池田学園施設長>

- ・茶髪に興味を持つ生徒がいて、夏休み中にムースで茶髪にすることもありました。それで学校には登校しませんが、実際のところ、興味を持っている子はいます。
- ・学園にもルールはあります。学園を卒業すると、グループホームや施設入所など選択肢がありますが、社会に出ると突然自由度が増します。しかし、鍵や服薬も自分で管理しなければならなくなります。その自由な中で生活をする力をつける必要がありますが、どこまでできるか悩むところです。
- ・高等部の靴下の掲示、学園でも参考にできると思いました。

<学校運営協議会会長>

- ・校則の見直しについて「児童生徒が積極的に参加する」とありますが、学校としてはどのような形で実施されているのでしょうか。

<事務局>

- ・再来週、児童生徒会から意見を聞くことになっています。

<池田支援学校長>

- ・今年度は今年度で見直しを行いますが、次年度も引き続き検討していきたいと思っています。
- ・校則の見直しが求められている背景には、児童生徒が納得できていない、合理的でないといった点もありますし、人権的な視点からといった点もあります。本分校ともスカートとズボンが選択できるようになるなど、少しずつ幅が広がってきました。引き続き、児童生徒にとって、本当に必要なものは何か、社会に参加しやすくなるために何が必要か、しっかりと考えていきたいと思っています。

(2) 授業参観について

<箸蔵婦人会会長>

- ・子どもたちはいきいきとしていました。先生も大きな声で、子どもたちの意見を引き出していました。婦人会で読み聞かせをしているので、とても参考になりました。

<箸蔵とことん店長>

- ・難しい授業をされているなあという印象です。前回見学させていただいた授業に関連性をもたせていてよかったと思います。グッジョブ花火も、楽しみにしています。

<池田学園施設長>

- ・成長が見られてよかった。にこやかに参加できていたのが印象的です。個々に合わせた対応でよかったです。

<本校PTA会長>

- ・授業内容が工夫されていて、充実した内容だった。子どもたちと楽しみながら授業ができていたように思います。先生の作り込みのおかげだと思います。

<ケアプラザ美馬施設長>

- ・すごいなあという印象です。先生が工夫されていたこと、そして小学部から中・高等部まで成長が見えました。小学部からの成長の積み重ねがすごいと思います。

(3) 地域と学校の連携について

【本校の報告】

- ・第1回の学校運営協議会で、子どもたちが学校や地域で活動する機会についてアイデアや情報をいただきました。そのときの内容を簡単に紹介し、途中経過もお伝えします。その上で、いただいたアイデアをさらに発展したり、新たなアイデアをお伺いできたらと考えています。
- ・本校では、石川委員から紹介いただき、高等部の生徒が、箸蔵山荘さんのさつま芋畑の草取りを2回程しました。また、池田博愛会のとことんまつりも紹介いただいたのですが、日にちが迫っていたので、来年何か一緒にできればということでした。

<本校PTA会長>

- ・高等部の生徒が作った陶芸の器を、ダムカレー用の器としてMINDEキッチン（池田町内の店）で使用する。

< 箸蔵とことん店長 >

- ・とことん祭りが11月3日にあり、学校が販売できるようブースを空けている。生徒の作品展示や販売などを協力して行うことができればと考えている。
- ・さつまいもを提供できるので、学校でも何か作ることができればいいと思う。
- ・とことんは交流施設なので、先生方それぞれの持っている力を発揮できる機会を作っただけであればと思っているし、生徒さんも交えて、さらに交流が深まれば良いと考えている。

< 事務局 >

- ・牛乳パックで紙すきをして、箸袋を作成している。牛乳パックが不足することもあるので、各施設で集めていただき、本校に持って来ていただけるとありがたい。

【分校の報告】

- ・戸島委員が提案してくださったイベントへの参加については、検討しているが土曜日・日曜日の開催ということもあり、参加が難しい状況である。ただ、出店という参加だけではなく、生徒の実態に応じてお客さんとしての参加も提案している。今年度については、クリスマスなどのイベントへ参加できるチャンスがあるので、前向きに検討したい。
- ・地域貢献活動の1つとして、現在、美馬町市民サービスセンターのエントランスをお借りして、野菜の無人提供を行っている。
- ・HPより多くの方に情報発信できるSNSの活用について、県教育委員会に問い合わせたところ、特別支援教育課がインスタグラムを運用しており、県下の特別支援学校の情報を集約して発信している。県としても活用いただきたいとの意向であったため、まずはこちらを活用させていただき、積極的に情報発信していきたい。美馬分校の取組としては、「市民サービスセンターでの野菜の提供」や「フジパンググループからのサッカーボール贈呈」の記事を掲載している。
- ・ケアプラザ美馬との交流は、コロナの影響でまだできていない。

< 鳴門教育大学教職大学院准教授 >

- ・以前、分校で野菜をいただいたお礼を伝えたいと思っていました。美馬町市民サービスセンターでの野菜の無人提供の取組では、例えば、ボードやノートを置いておいて、野菜を持って帰ってくれた方がお礼などを書けるようにして生徒に伝えるシステムがあると良いと思います。生徒の活動意欲にもつながるかもしれません。

< 事務局 >

- ・野菜の無人提供は今後も継続して行う予定であるため、ぜひ取り入れたい。

< ケアプラザ美馬施設長 >

- ・ケアプラザ美馬はコロナの関係で外部との交流がまだできていない。涼しくなってきたら、屋外で交流することは可能かもしれない。

< 事務局 >

- ・現状から施設に外部の者が入っていくのは難しいと思うが、オンラインでの交流についても検討していただけるとありがたい。
- ・ケアプラザ美馬で野菜を手渡したとき、利用者さんの喜んでくれている表情を見て、ケアプラザ美馬への就職を決めた生徒もいる。交流の影響は大きい。